

# IBM Aspera Faspex 5.0 アプリケーションは、より高速で直感的なユーザー体験のワークフローで機能強化され、拡張性も向上しました

## 目次

1	概要	3	技術情報
2	主要要件	5	発注情報
2	出荷開始予定日	6	契約条件
2	プログラム番号	9	料金
2	製品資料		

## 概要

IBM<sup>®</sup> Aspera<sup>®</sup> Faspex は、距離やネットワークの状態に関係なく、セキュリティの充実した高速データ移動を可能にします。これは、ユーザーが電子メールに似たワークフローを使用してファイルを相互にすばやく共有することを可能にする一元化された転送ソリューションです。また、大陸間および世界中のビッグデータ・ファイルの交換を行う複数のチームが関与するプロジェクトに最適です。

ユーザーがアップロードしたファイルやフォルダーは、IBM Aspera 転送サーバーに送信、保管、ダウンロードされます。IBM Aspera Faspex では、Web ブラウザー拡張機能およびデスクトップ・クライアントである IBM Aspera Connect を使用することで、IBM Aspera 転送サーバーによる高速アップロードおよびダウンロードを容易にして、デジタル資産のファイル転送、同期、ストリーミングを使用可能化しています。

### IBM Aspera Faspex 5.0 の新機能

IBM Aspera Faspex 5.0 は、IBM Aspera Enterprise のファイルおよびデータ転送ソリューション・スイートの一部で、改良された Web アプリケーションです。より高速で直感的なユーザー体験ワークフローにより製品全体の使いやすさが強化され、拡張性も向上しました。

- ・ ユーザー・エクスペリエンスの柔軟性が向上しました。
  - シンプルな操作性、高い応答性、CARBON X デザインで直感的に使用できます。
  - ライト・モードとダーク・モードがあります。
  - モバイル・ブラウザでネイティブに動作できます。
  - IBM Aspera on Cloud と調和したエクスペリエンスをお届けできるようにデザインされており、Aspera Enterprise ファミリーのオフオファリングにおいて、一貫したユーザー・エクスペリエンスを提供します。
- ・ HTTP Gateway と、統合された接続性で構成：
  - 複数のファイル転送を同時に実行し、バックグラウンドでファイルを転送できる拡張機能を提供します。
- ・ React 上に構築されており、OpenAPI 仕様 (OAS) に続く RESTful API を使用しています。
  - 軽量で、導入と保守がしやすいように設計されたアプリケーションです。
  - 統合のコストを削減でき、クライアント固有の採用に対応します。
  - UI ベースのアプリケーション、またはヘッドレス API エンジンとして使用できます。
- ・ 機能強化された統合オプションと、UI のすべての主要な機能は、API を介して選択可能です。
  - 重要なクライアントの要求に対処し、アプリ統合がより簡単に行えます
- ・ 完全にコンテナ化されたアーキテクチャーとしてのデザイン：
  - オンプレミス、クラウド上で、または、Linux<sup>®</sup> 上の標準アプリケーションとして展開できます。

---

## 主要要件

---

詳しくは、 [Aspera ダウンロードとドキュメンテーション](#) の Web サイトをご覧ください。

---

## 出荷開始予定日

---

2022 年 6 月 17 日

国別の出荷予定は、各国の法的要件に応じて決まります。

---

## 参照情報

---

IBM Aspera Faspex の詳細については、ソフトウェア発表レター [JP19-0271](#) (2019 年 8 月 27 日付) を参照してください。

---

## プログラム番号

---

Program number	VRM	Program name
5737-I67	5.0	IBM Aspera Faspex

---

## 製品資料

---

この製品とともに出荷される出版物はありません。

---

## サービス

---

### IBM Systems Lab Services

Systems Lab Services は、ハイブリッドクラウドおよびエンタープライズの IT ソリューションのビルドを支援するインフラストラクチャー・サービスを提供します。サーバーからストレージ・システムやソフトウェアに至るまで、Systems Lab Services は次世代 IT インフラストラクチャーのビルディング・ブロックの導入を支援して、お客様のビジネスの強化に貢献します。Systems Lab Services のコンサルタントは、お客様のためにオンラインまたはオンサイトでインフラストラクチャー・サービスを実行して、深い技術専門知識、有用なツール、成果の上がる方法を提供します。Systems Lab Services は、お客様がビジネスの課題を解決し、新しいスキルを獲得し、ベスト・プラクティスを適用できるように設計されています。

Systems Lab Services は、IBM Power<sup>®</sup> サーバー、IBM ストレージ・システム、IBM Z<sup>®</sup>、および IBM LinuxONE 向けに幅広いインフラストラクチャー・サービスを提供します。Systems Lab Services はグローバルな存在であり、経験豊富なコンサルタントを世界中にオンラインまたはオンサイトで配置できます。

支援については、Systems Lab Services ([ibmsls@us.ibm.com](mailto:ibmsls@us.ibm.com)) にお問い合わせください。

詳細は、 [IBM Systems Lab Services](#) の Web サイトを参照してください。

### IBM<sup>™</sup> Consulting

あらゆる業界でトランスフォーメーションが続く中、企業は、全社的なビジネス戦略とテクノロジー・インフラストラクチャーをマップするために単独のパートナーを必要としています。IBM Consulting は、全社規模で変化を加速させるビジネス・パートナーです。IBM の専門家は、人材、テクノロジー、パートナー・エコシステムのつながりを築く協調的な働き方を見つけることにより、企業の成功を支援します。IBM Consulting は、ビジネスに関する専門知識

とテクノロジーのエコシステムをまとめて、組織が直面する最大の問題の解決を支援します。より迅速に結果を得るための手法、オープンかつ柔軟なハイブリッドクラウド・アーキテクチャーを土台とする統合型アプローチ、IBM Research<sup>®</sup> および IBM Watson<sup>®</sup> AI から取り入れたテクノロジーにより、IBM Consulting は、企業が確実に変化を指揮し、ビジネスと最終的な収益を継続的に改善できるようにします。

詳細は、[IBM Consulting Web サイト](#)を参照してください。

#### IBM Technology Support Services (TSS)

予防保守およびオンサイト・サポートとリモート・サポートを受け、重要なビジネス・アプリケーションおよび IT システムに対する実用的な洞察を得ます。240 を超えるオープンソース・パッケージ向けのサポートで、開発者の技術革新を加速します。IBM の強力なアナリティクスと AI 対応のツールを活用し、緊急事態に発展する前にお客様のチームが IT の問題を管理できるようにします。

TSS は、お客様の環境の複数のニッチを網羅する幅広い IT の保守とサポートのサービスを提供します。TSS は、サーバー、ストレージ、ネットワーク、アプライアンス、ソフトウェアなどの IBM と OEM の製品に対応して、お客様がデータ・センターとハイブリッドクラウド環境全体で高可用性を確保できるよう支援します。

利用可能なサービスの詳細については、[ハイブリッドクラウド環境向けのテクノロジー・サポート Web サイト](#)を参照してください。

#### IBM ExpertLabs

Expert Labs は、お客様が深い技術スキルと知識を活用することにより、プロジェクトを加速して価値を最適化できるように支援します。20 年間を超える業界における経験を有するこれらの専門家は、即時に影響をもたらすビジネス上の結果を出すために最大の課題を克服する方法を理解しています。

多くの場合、新製品、新機能、ロードマップに関する情報に最初にアクセスできるため、Expert Labs は、IBM の製品開発部門との協調を深めることで、戦略的な優位性を得ることを可能にします。この開発部門とのつながりにより、Expert Labs は、お客様の組織に最も適した柔軟なアプローチを駆使し、お客様独自のニーズに対応するため、またはお客様のビジネスを拡大するための First of a Kind (FOAK) の実装を可能にします。

詳細は、[IBM Expert Labs](#) の Web サイトを参照してください。

#### IBM Security<sup>®</sup> Expert Labs

IBM Security ソフトウェア・ソリューションに関するコンサルティングの幅広い専門知識を持つ IBM Security Expert Labs は、お客様とパートナーがアプリケーション、データ、人材のセキュリティをモダナイズするのを支援します。コンサルティングと研修の幅広いサービス・ポートフォリオにより、Expert Labs は、プロジェクト・ベースとプレミア・サポート・サービス・サブスクリプションを提供しています。

これらのサービスは、お客様が IBM Security ソフトウェアを導入して統合し、チームのリソースを拡張し、ゼロトラストのような重要な戦略などのハイブリッドクラウド・ソリューションの成功を導き、加速する上で役立ちます。リモートとオンプレミスのソフトウェア・デプロイメントの支援は、IBM Cloud Pak<sup>®</sup> for Security、IBM Security QRadar<sup>®</sup>/QROc、IBM Security SOAR/Resilient<sup>®</sup>、IBM i2<sup>®</sup>、IBM Security Verify、IBM Security Guardium<sup>®</sup>、および IBM Security MaaS360<sup>®</sup> で利用できます。

詳しくは、Security Expert Labs ([sel@us.ibm.com](mailto:sel@us.ibm.com)) にお問い合わせください。

詳細は、[IBM Security Expert Labs](#) の Web サイトを参照してください。

---

## 技術情報

### 所定稼働環境

#### 前提ソフトウェア

IBM Aspera Faspex 5.0 アプリケーションには以下が必要です。

- ・ Red Hat<sup>®</sup> Enterprise Linux (RHEL) 7、8 以降
- ・ CentOS 7
- ・ Docker
- ・ MariaDB 版 10.7.3 以降
- ・ IBM Aspera High-Speed Transfer Server 4.3.1 以降、(Connect サーバー・ライセンス付き)
- ・ IBM Aspera Connect 4.1.3 以降 (デフォルトが HTTP Gateway でない限り)

## 構成情報

以前の IBM Aspera Faspex リリースからバージョン 5.0 にアップグレードするには、IBM Aspera Faspex 構成で以下の調整が必要です。

- ・ バージョン 5.0 は、オペレーティング・システムとしての Windows<sup>™</sup> をサポートしていません。IBM Aspera Faspex 5.0 にアップグレードするには、バージョン 5.0 を実行する前に、Faspex 4.X インスタンスを Linux server に移行してテストする必要があります。
- ・ バージョン 5.0 では、ライセンス・ファイルは検証されません。
- ・ バージョン 5.0 は、現在、代替アドレスをサポートしていません。
- ・ バージョン 5.0 では、データベースで MariaDB 10.7.3 以降を実行することが要件です。
- ・ 新しい IBM Aspera Faspex 5.0 アカウントにログインするには、ユーザー・アカウントの E メール・アドレスを使用する必要があります。IBM Aspera Faspex 4 からアップグレードする場合、X からアップグレードしても、ユーザーは IBM Aspera Faspex 4.X ユーザー名を使用して既存のユーザー・アカウントにログインできます。
- ・ 新しい IBM Aspera Faspex 5.0 ユーザーは、最初のログイン時に、パスワードを変更する必要があります。この要件をサーバー設定で無効にすることはできません。
- ・ 管理者は、別のユーザーのパスワードを設定できなくなりました。ユーザーは自分のパスワードを変更することができます。
- ・ 管理者は、別のユーザーのパスワードをリセットできなくなりました。ユーザーは自分のパスワードをリセットすることができます。
- ・ 管理者は、ユーザー名を使用者であるユーザーの名前を表示するを選択できなくなりました。IBM Aspera Faspex は、常にユーザーの最初の名前と姓が表示されます。
- ・ 「テンプレート・ユーザーの編集」というアクション名は、「自己登録ユーザーのデフォルト設定」に変更されました。
- ・ セキュリティ上の理由から、IBM Aspera Faspex では、ユーザー認証と管理のためのディレクトリー・サービスへの直接接続の使用をサポートしていません。代わりに、ユーザーは、ディレクトリー・サービスの先頭に SAML ID プロバイダー (IdP) を使用することで、ユーザーの SAML ベースの認証を使用する必要があります。
- ・ SAML メタデータとコールバック URL ルートは、以前のバージョンとは異なります。
- ・ ユーザーは、パッケージの送信にあたって、(外部) フラグを使用して IBM Aspera Faspex ユーザーによるログインなしのパッケージのダウンロードを許可するのではなく、代わりに、「アカウントを持つ受信者によるログインなしのパッケージのダウンロードを許可する」を有効にすることができます。この機能を使用するには、管理者が「送信者が IBM Aspera ユーザーによるログインなしのパッケージのダウンロードを許可できる」をオンにする必要があります。
- ・ [パッケージの送信] ページのワーク・グループ名と共有受信トレイ名の前に、アスタリスクが付加されなくなりました。
- ・ 送信フォーム・ページの、Connect と HTTP Gateway のどちらで送信するかを選択するためのオプションが表示されなくなりました。
- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 では、メタデータ・プロファイルのプレビューはサポートされません。
- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 では、HSTS 4.3+ アクティビティ・ロギング機能を使用して転送情報を取得します。
- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 では、HTTP フォールバックがサポートされません。
- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 では、rake タスクの使用がサポートされなくなりました。
- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 では、faspex.yml 構成ファイルは使用されなくなりました。
- ・ 後処理は、IBM Aspera Faspex 5.0 では削除されました。
- ・ 転送対象外検証は、現在、IBM Aspera Faspex 5.0 では使用できません。

- ・ IBM Aspera Faspex 5.0 API は、それ以前のバージョンの IBM Aspera Faspex API とは互換性がありません。

## IBM Support

**IBM Support** は、お客様の時間を節約してサポートを簡素化するように設計された、技術サポートのツールやリソースへのゲートウェイです。IBM Support は、疑問に対する回答の検索、修正のダウンロード、トラブルシューティング、問題事例の報告と追跡、およびスキルの向上に役立ちます。**IBM Support Insider** にアクセスして、新しいツール、新しいプロセス、新機能などの IBM Support の変更について知り、情報を入手してください。

## その他の IBM サポート

### IBM システムのためのクライアント・エンジニアリング

Client Engineering for Systems は、デジタル・トランスフォーメーションを加速させるためのフレームワークです。革新的なアイデアを生み出すことができ、そのようなアイデアを数週間ビジネス価値に変えるための手法、テクノロジー、専門知識を活用することができます。システムのためのクライアント・エンジニアリング (Client Engineering for Systems) で作業する際、問題点に焦点を当てる必要があります。お客様は、チームが手に負えるリスクを負い、最先端のテクノロジーを採用し、ソリューション開発をスピードアップして、すべての価値を評価する上で支援できます。Client Engineering for Systems には、ビジネス・トランスフォーメーション、ハイブリッドクラウド、アナリティクスとAI、インフラストラクチャー・システム、セキュリティの機能などの幅広いユース・ケースに対応するための専門家とサービスが用意されています。クライアント・エンジニアリング (sysgarage@ibm.com) までお問い合わせください。

## 計画情報

### パッケージング

このオフリングには、インターネットを通じてアクセスします。物理メディアや 電子的な成果物はありません。

## 発注情報

発注情報については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、[パスポート・アドバンテージ<sup>®</sup>](#) Web サイトを参照してください。

これらのプログラムは、[パスポート・アドバンテージ](#) を介してのみ提供されます。

この発表による発注情報の変更はありません。便宜のために、以下の表には以前に発表されたすべてのパーツ番号が列記されています。

### IBM Aspera Faspex (5737-I67)

Part description	Part number
IBM Aspera Endpoint 1 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04FKZX
IBM Aspera Endpoint 10 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04FRZX
IBM Aspera Endpoint 100 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04FXZX
IBM Aspera Endpoint 2.5 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04G3ZX
IBM Aspera Endpoint 300 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04GFZX
IBM Aspera Endpoint 45 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04GLZX
IBM Aspera Endpoint 5 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04GSZX
IBM Aspera Endpoint 500 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04GYZX

Part description	Part number
IBM Aspera Enterprise 1 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04F2ZX
IBM Aspera Enterprise 10 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04F8ZX
IBM Aspera Enterprise 100 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04DUZX
IBM Aspera Enterprise 2.5 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04E0ZX
IBM Aspera Enterprise 20 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04E6ZX
IBM Aspera Enterprise 300 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04ECZX
IBM Aspera Enterprise 45 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04EHZX
IBM Aspera Enterprise 5 Gbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04ENZX
IBM Aspera Enterprise 500 Mbps Install SW Subscription & Support Reinstate 12 Months	D04FEZX

## 課金単位

課金単位に関する情報は、対応するライセンス情報文書に記載されています。

Program number	License Information document title	License Information document number
5737-I67	IBM Aspera Faspex Application 5.0	<a href="#">L-LAVA-CBMUTP</a>

任意の言語を選択し、「Charge Metrics」セクションまでスクロールダウンしてください。後続のリリースでは、契約条件が更新される可能性があります。詳しくは、[License Information documents](#) Web サイトを参照してください。

## 契約条件

この発表レターに記載されている情報は、参考のため、および便宜上の目的のためにのみ提供されています。IBM とのあらゆる取引を規定する契約条件については、IBM プログラムのご使用条件、IBM インターナショナル・パスポート・アドバンテージ<sup>®</sup> 契約、および IBM ソフトウェア・メンテナンス取得契約などの該当する契約書に記載されています。

本製品は、パスポート・アドバンテージ を介してのみ提供されます。

### ライセンス交付

お客様によるプログラムの使用は、IBM プログラムのご使用条件（ライセンス情報およびライセンス証書（PoE）を含む）の対象となります。すべての許可使用に、PoE が必要です。パスポート・アドバンテージ<sup>®</sup> 以外から提供されるパーツ番号の製品（該当する場合は、使用許諾されるだけで、ソフトウェア・メンテナンスは含まれません。

### ソフトウェア・メンテナンス

このプログラムは、IBM プログラムのご使用条件（IPLA）の下でライセンス交付を受け、これにより、プログラムのリリースおよびバージョンへの継続的なアクセスがサポートされます。IBM は、お客様が取得された各プログラムの初期ライセンス取得に、1 年間のソフトウェア・サブスクリプション&サポート（ソフトウェア・メンテナンスともいう）を組み込んでいます。ソフトウェア・サブスクリプション&サポートの初期期間は、更新オプション（利用可能な場合）を購入することによって延長できます。このプログラムの使用には、プログラム使用のための一括払いのライセンス使用料と、電話によるサポート（通常の営業時間中の音声による障害サポート）およびサポートの有効期間中のプログラムの更新、リリース、およびバージョンへのアクセスを含む拡張サポートに対して毎年の更改使用料が課せられます。

### ライセンス情報（LI）の資料番号

Program number	License Information document title	License Information document number
5737-I67	IBM Aspera Faspex Application 5.0	L-LAVA-CBMUTP

後続のリリースでは、契約条件が更新される可能性があります。詳しくは、[License Information documents](#) Web サイトを参照してください。

#### 限定保証の適用

あり

#### 限定保証

IBM は、本プログラムが所定稼働環境で使用されている場合に、その仕様に従って動作することを保証いたします。かかる保証は、本プログラムの変更の加えられていない部分についてのみ適用されるものとします。IBM は、プログラムの実行が中断されないこと、またはプログラムが問題なく実行されること、あるいは IBM がすべてのプログラムの欠陥を修正することを保証しません。本プログラムの使用によって生じた結果に対する責任はお客様が負うものとします。

IBM では、お客様がプログラムの既知の問題点、問題点の修正、制限事項および迂回処置に関する情報を含む IBM のデータベースに追加料金なしでアクセスできるようにしています。詳細については、[IBM サポート・ガイド](#) を参照してください。

IBM は、本プログラムの元々のライセンス取得者が本プログラムを取得してから最低 1 年間（以下「保証期間」といいます）、この情報を維持するものとします。

#### プログラム技術サポート

##### 継続的デリバリー (CD) サポート

プログラム製品のバージョンまたはリリースの技術サポートは、お客様のサブスクリプション & サポートが有効である限り、出荷開始予定日から最低 2 年間利用できます。

この技術サポートでは、プログラム製品のインストールおよび操作に関する製品固有の作業本位の質問について、IBM からの（電話または電子的手段による）支援を受けることができます。ソフトウェア・サブスクリプション & サポートは、プログラムのバージョン、リリース、および更新（CD リリース、長期サポート・リリース、あるいは修正）へのアクセスも提供しません。

サポートの終了は、発表レターによって終了の 12 カ月前までにお客様に通知されます。

終了日以降へのサポートの延長も含め、IBM から追加の技術サポートが必要な場合は、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせください。この延長は有償でご利用いただけることがあります。

CD サポート・ライフサイクル・ポリシーの追加情報については、[IBM Continuous Delivery Support Lifecycle Policy](#) Web ページを参照してください。

IBM ソフトウェア・サポート・ライフサイクル・ポリシーの追加情報については、[標準および拡張 IBM ソフトウェア・サポート・ライフサイクル・ポリシー](#) Web サイトを参照してください。

#### 返金保証

なんらかの理由で本プログラムに満足いただけなかった場合は、オリジナル・ライセンス所有者である場合に限り、送り状の日付から 30 日以内に本プログラムとその PoE を販売元にお返しただけであれば、お支払い額を返金いたします。本プログラムをダウンロードした場合の返金のお受け取り方法につきましては、本プログラムをお買い求めの販売元にお問い合わせください。



明確にするために、以下のことにご留意ください。(1) IBM インターナショナル・ パスポート・アドバンテージ 契約のもとで取得されたプログラムの場合、この条件は当該プログラムの最初の取得にのみ適用されます。(2) IBM のいずれかの On/Off Capacity on Demand (On/Off CoD) ソフトウェア製品のもとで取得されたプログラムの場合、これらの製品はお客様によってすでに取得・使用されているプログラムのみ適用されるため、この条件は適用されません。

#### ボリューム発注 (IVO)

---

なし

#### パスポート・アドバンテージ の適用

---

あり。情報は、 [パスポート・アドバンテージ](#) および [パスポート・アドバンテージ・エクスプレス](#) の Web サイトでも参照できます。

#### 使用上の制限

---

あり

使用制限については、 [契約条件](#) セクションに示すライセンス情報文書を参照してください。

#### ソフトウェア・サブスクリプションおよびサポートの適用

---

あり。ソフトウェア・サブスクリプション & サポート（「ソフトウェア・メンテナンス」ともいう）は、 [パスポート・アドバンテージ](#) および [パスポート・アドバンテージ・エクスプレス](#) を経由でご注文いただくライセンスに含まれています。製品のアップグレードとテクニカル・サポートは、契約に記載の通り、ソフトウェア・サブスクリプション & サポートのオフリングによって提供されます。製品アップグレードでは、対象のソフトウェアの最新バージョンおよびリリースが提供されます。テクニカル・サポートでは、 IBM サポート組織に電話や電子的手段で問い合わせる権利が提供されます。

取得された各プログラム・ライセンスには、1 年間のソフトウェア・サブスクリプション & サポートが含まれています。ソフトウェア・サブスクリプション & サポートの初期期間は、更新オプション（利用可能な場合）を購入することによって延長できます。

ソフトウェアのサブスクリプション & サポートの有効期間中は、お客様の通常の短期インストール作業や使用（使用方法）についての疑問、およびコード関連の質問などについて、IBM がサポートを提供いたします。IBM は、お近くの IBM サポート・センターの通常の営業時間（公表されている基本シフト時間）内に、お客様の情報システム (IS) 技術サポート担当者に対してのみ、電話および（利用できる場合は）電子アクセスを通じて支援を提供いたします。（お客様のユーザーは、このサポートを利用できません。）IBM は、通年 1 日 24 時間、週 7 日体制で重大度 1 のお問い合わせに対するサポートを提供しています。詳しくは、 [IBM サポート・ガイド](#) を参照してください。ソフトウェア・サブスクリプション & サポートには、アプリケーションの設計および開発、指定の稼働環境以外の環境でのプログラムの使用、または適用される契約に従い IBM が責任を負わない製品に起因する障害に対するサポートは含まれていません。

作成されたお客様との契約書に別途指定されていない限り、IBM は、IBM が提供していないサード・パーティー製品をサポートしません。対象範囲内のサポートを受けるために IBM に連絡する場合は、必ず IBM が [IBM サポート・ガイド](#) で提供する問題判別およびその他の指示に従ってください。

インターナショナル・パスポート・アドバンテージ 契約および IBM インターナショナル・パスポート・アドバンテージ・エクスプレス契約の追加情報については、 [パスポート・アドバンテージ](#) および [パスポート・アドバンテージ・エクスプレス](#) の Web サイトを参照してください。

#### 可変課金の適用

---

なし

#### 教育機関向け割引の利用



適用外。

---

## 適切なセキュリティ実施について

---

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの侵入防止、不正アクセスの検出、および不正アクセスへの対応を通して、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスは、情報の改ざん、破壊、または悪用につながるおそれがあるほか、システムが誤用され他の方を攻撃してしまうおそれがあります。セキュリティに対して包括的なアプローチをとらない IT システムや IT 製品は、完全に安全だとみなすべきではありません。また単一の製品や単一のセキュリティ対策では、不正アクセスの防止効果は完全ではありません。IBM システムおよび製品は、規制に準拠したセキュリティに関する包括的な取り組みの一環として設計されています。これには必然的に追加の運用手順が含まれ、これを最も効果的なものとするには、他のシステム、製品、またはサービスが必要となる場合もあります。

重要： IBM では、いずれのシステム、製品、あるいはサービスも第三者の悪質な行為、および不正な行為による影響を受けていないこと、または将来受けないことを保証するものではありません。

---

## 料金

---

地域の料金全般については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせください。

### ビジネス・パートナー情報

IBM から製品を取得する IBM ビジネス・パートナーである場合、販売店向けのパスポート・アドバンテージ・オンラインにアクセスすると、ビジネス・パートナー向けの料金設定情報を確認できます。 [IBM パスポート・アドバンテージ](#) または [IBM PartnerWorld<sup>®</sup>](#) の Web サイトにアクセスするには、IBM ID とパスワードが必要です。

### パスポート・アドバンテージ

パスポート・アドバンテージに関する情報および料金については、IBM 担当員にお問い合わせください。追加情報は、[パスポート・アドバンテージ](#) および [パスポート・アドバンテージ・エクスプレス](#) の Web サイトでも参照できます。

### 商標

IBM Consulting は、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

IBM、Aspera、Passport Advantage、Power、IBM Z、IBM Research、IBM Watson、IBM Security、IBM Cloud Pak、QRadar、Resilient、i2、Guardium、MaaS360 および PartnerWorld は、IBM Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

登録商標 Linux<sup>®</sup> は、世界規模のマークの所有者である Linus Torvalds の独占的被許諾者である Linux Foundation からのサブライセンスに従って使用されます。

Red Hat は Red Hat Inc の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

### ご利用条件

お客様の国で発表されて入手可能な IBM 製品およびサービスは、その時点で有効で適用可能な標準契約、条項、条件、および料金に基づいて発注できます。IBM は、この発表をいつでも予告なしに変更または撤回する権利を留保します。この発表はお客様の参照用としてのみ提供されています。追加のご利用条件については、次の Web サイトでご確認ください。

#### [ご利用条件](#)

この製品発表レターは、IBM Corporation が発表した時点での製品発表レターの抄訳です。

IBM 製品に関する最新情報については、IBM 担当員または販売店にお問い合わせいただくか、IBM Worldwide Contacts ページをご覧ください。

[日本 IBM](#)